

日本特別ニーズ教育学会第26回研究大会 開催報告

2020年度の日本特別ニーズ教育学会第26回研究大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、10月17日（土）にオンラインでの開催（WEB開催）を行うことに致しました。今大会は第9期理事会での初めての研究大会であり、理事会主催の研究大会でもありましたので、日本特別ニーズ教育学会の「次の25年」につなげていくための大事な一歩として、学術研究・交流の場を絶やさず、特別ニーズ教育の学問的・実践的広がりと深化を追求できる場の創出を目指しました。

オンラインでの開催ではございましたが、研究大会には77名の方にご参加いただき、また自由研究発表に関しましては24名の方にご発表をいただきました。初めてのオンライン開催ということで、会員の皆様にはご迷惑をおかけしたこともあったかと存じますが、改めて感謝申し上げます。

今大会におきましては「学会総会」や「学会奨励賞」につきましてもウェブ上でを行い、自由研究発表につきましては動画でのオンデマンド発表と致しました。15分以内の「音声付きパワーポイント動画」を事前に発表者の皆様からいただきまして、研究大会当日にオンデマンド動画として公開を致しました。その後、Google フォームを用いて参加者からいただいた質疑・コメント等に対して発表者からご回答をいただき、最後にコメンテーターによる総評がなされました。

リアルタイムの質疑応答ではありませんでしたが、発表者による真摯な学術的発表に対して、丁寧な質疑やコメント、総評が寄せられ、研究大会としての学術研究の深まりが一定達成されたものと考えております。

今大会では初めてのWEB研究大会でもありましたので、大会終了後に参加者の皆様にアンケートのご回答を依頼致しましたが、参加者からも「質疑応答も、書き込む形式となり、質問を受ける側も記録が残るので、参考にしやすくなった」、「ウェブフォームを用いることで多様な視点からの質疑を扱うことができる点はよかった」との感想が寄せられました。

また今大会がオンライン開催であったことで、「遠方の学会への参加は交通費・宿泊費がかかるために躊躇するのですが、今回のようなWeb開催は歓迎でした」、「繰り返し発表を見ることができよかった」、「交通費、宿泊費がかからないので遠方の会員も参加しやすい」などの感想も寄せられました。

一方で「同時配信のプログラムがないのは残念」など、zoom等のオンライン会議システムを用いたリアルタイムの研究交流の必要性につきましても、参加者の皆様からご指摘をいただきました。今回のオンラインでの研究大会での成果と課題を踏まえながら、来年度の研究大会・中間集会等での意味のある学術研究・交流の場となるような企画・運営を行っていきたいと考えております。

最後となりますが、本大会ご参加の皆様、会員の皆様には心より感謝申し上げます。次回

大会におきましては、皆様にまたお会いして、学術研究・交流をさらに続けていけますことを、心より願っております。

日本特別ニーズ教育学会第9期理事会